

学校と地域の架け橋として

運営協議会 会長 矢田 親成

秋冷の候 両津吉井小学校区の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度、学校運営協議会長を仰せつかりました矢田親成と申します。私もこの学校の第3回卒業生であります。それゆえにこのような大役を務めることは身の引き締まる思いであります。

さて、両津吉井小学校の学校運営協議会規約の第2条（趣旨）に「保護者及び地域住民の学校運営への参画の促進及び連携強化を進めることにより、学校と地域住民等との信頼関係を深め、学校運営の改善や児童の健全育成に取り組むものとする。」とあります。現在、両津吉井小学校はこの趣旨に沿うような教育活動を精力的に進めています。例えば、郷土芸能に触れる学習活動（「鬼太鼓」「能」）、郷土の産業を学ぶ学習活動（「お茶」「稲作」）、地域の環境問題を学ぶ学習活動（「ドングリの森」「加茂湖」）等です。これらの学習活動には、それぞれの分野において指導的な役割を果たしてくれる多くの地域の方々関わってくれています。今後もこのような学習活動を充実させていくことで、両津吉井小学校の子どもたちの心の中に「地域を愛する心」や学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」が育まれていくものと考えます。

学校運営協議会は、規約第2条の趣旨を踏まえ、上記のような特色ある教育活動を含め、両津吉井小学校と保護者・地域住民との架け橋となる役目を精一杯果たすつもりです。今後とも保護者・地域の皆様方のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

令和4年度 学校運営協議会 委員

会長 矢田親成（長江地区代表） 副会長 武部健一（おやじの会代表・秋津）
 委員 室岡甚一（ドングリの森事業・上横山）・田中照夫（立野地区代表）・徳盛勝文（吉井分館協議会会長・潟端）・逸見安正（下横山地区代表）・源田俊夫（旭地区代表）・小野淳子（吉井保育園長）・堀川悟（CSディレクター・秋津）・中村伸二（PTA会長・上横山）・伊藤良子（PTA副会長・上横山）・後藤修治（校長）
 事務局 細谷賢吾（教頭）

※ 学校の活動や児童の様子など、お気付きのことなどありましたら、気軽にお声をお掛けください。

学校支援ボランティアの活動

令和2年度より募集してきております「学校支援ボランティア」に、現在のところ右表のように25名の個人・団体の申し出があり、登録させていただいております。

安全支援では、登下校の安全確認や降雪時の除雪など自主的に取り組んでもらっています。登録者以外の方も参加している様子もありました。学習支援では、本の読み聞かせやお茶の指導や各学年のふるさと学・総合的な学習の時間の活動で協力いただいています。環境整備では、PTAのグラウンド除草に参加したり、自主的に通学路の除草を行ったりしていただいています。

ボランティアについては、今後も申込みを受け付けていきます。ご協力いただける方や関心のある方は、担当者にお問い合わせいただき、登録の申込みをしていただきたいと思います。

担当者 両津吉井小学校 教頭 細谷賢吾 TEL 27-2702 FAX 27-2764

◎ ボランティア登録状況

A 安全支援	11名
B 学習支援・地域学習	19名
C 放課後学習	6名
D 環境整備	13名
登録者実数	25名

令和4年度 第2回学校運営協議会の報告

9月29日(木)開催

※ 学校運営協議会の協議内容の概略

1 1学期学校評価について

「1学期学校関係者評価資料」をもとに、「ほとんどの評価項目で目標を達成している。家庭学習に関する2項目でA評価に至らなかった。」と報告がありました。

立志プロジェクトに関しては、「語るができる」の評価の具体的な場面を載せて欲しい。キャリアパスポート・キャリアカウンセリングなど活動の内容が分かる資料が欲しい。などの意見が寄せられました。

社会力向上プロジェクトに関しては、「児童アンケートの結果を個々の児童の指導や支援にどう活かしているか？」との質問があり、「教職員全体での情報共有を行ったり、必要な児童には個別面談等を行ったりしている。」との回答がありました。また、「1学期の活動内容を評価の根拠の中に記述した方が分かりやすい。」との意見もありました。

確かな学びプロジェクトに関しては、「国語・算数の2教科の評価でよいか？」との質問に、「学校評価に関わることを中心としているので、基礎教科の2教科に絞っている。文科省の学力テストも国語・算数だけになっている。」と説明がありました。

また、全体として、「評価のまとめの表に、評価の基となる数値や実施状況などを評価の根拠として記述した方がよい。」との意見もありました。

2 放課後子ども教室について

今年度より4年生も対象にしていること、自主学習だけでなく、「遊びの日」として交流を意識した活動を取り入れていることなどの説明がありました。

交流活動時のけが等のための保険等が必要であり、学校管理下として認めてもらえないかを教育委員会に確認するなどの対応について話し合われました。

3 学校運営協議会たよりについて

学校運営協議会の内容や学校と地域の連携した活動の紹介を中心に掲載し、年間2回発行することが確認されました。

4 学校支援ボランティアについて

現在の登録状況と各ボランティアの活動の様子が報告されました。今後の活動内容についての協議や今後も募集を継続していくことなどが話し合われました。

5 その他

学習参観の様子から、「始業のあいさつや発言の仕方など学習規律ができています。」「鉛筆の持ち方が不十分な児童がいる。」との感想が出されました。

1 学期学校関係者評価の結果（達成目標のみ）

プロジェクト	評価項目	結果	評価
1 立志	・自分の夢・志をもち、「それを叶えるためにどんな努力しているか」を語るができる児童を80%以上にする。	アンケート 89.1%	A
2 社会力向上	・自己有用感をもつ児童（人の役に立てることを喜べる児童）を自己評価で90%以上にする。	アンケート 93.2%	A
3 確かな学び①	・課題解決に向けて根拠をもとにした話合いができる児童を75%以上にする。	アンケート 82.0%	A
確かな学び②	・10分以上×学年の家庭学習を毎日達成できている児童を80%以上にする。	学習カード 79%	B

※ その他の評価項目については学校だより（9月号）に掲載されています。

※ 後期の学校評価についても学校だよりに掲載される予定ですので確認してください。